

松林庵

松林庵は、江戸時代（1603-1868 年）の末期に、仁和寺の住職に仕え守護を任された歴代の武士が住んでいた場所です。1937 年にその家の子孫が仁和寺に寄進したもので、現在の地に落ち着くまでに何度か移築されました。改築された建物の造りは、遊び心を感じさせるものとなっています。2 階建ての建物にある様々な大きさの部屋は、芸術的な装飾や背の低い扉、意表を突いた角度などが特徴的です。この特異な造りは特に 2 階部分でみられ、そこには中央の階段を見下ろす小さな橋を渡って入ることができる、小さな展示室と同じく小さな茶室があります。建物の裏手には小さな庭園があり、1 階の居間から障子を開けて眺めることができるように設計されています。また、庭園に面した縁側に座って景色を眺めることもできます。この庭園は、2018 年に豪華な宿坊としてオープンする前の改修工事の一部として造られました。仁和寺のプライベートツアーの一環として、1 泊 100 万円で最大 5 名まで宿泊することができます。